



市議会だより



新しい議会を担うことになりました

主な内容

C
O
N
T
E
N
T
S

議長・副議長就任挨拶	2
議員紹介	3
委員会構成	4
市長所信表明	5
臨時会・12月定例会・議案等の審議結果	6
会派代表質問	8
12月定例会一般質問・市政のここが聞きたい	12
ピックアップ常任委員会	22
市民の声・編集後記	24

市議会ホームページ

<http://www.city.azumino.nagano.jp/gikai/index.html>

議事録閲覧 http://www.gijiroku.jp/gikai/c_azumino/

人口と世帯 2010.1.1現在()内は対前月比

人口99,227人(-14) 男48,109人(+15) 女51,118人(-29) 世帯36,618世帯(+6)

新しい時代にふさわしい市民に開けた安曇野市議会をめざして

議員紹介

・氏名(年齢)
・会派
・住所
・電話番号

(議席順) 平成 21 年 11 月 6 日現在

	小松 洋一郎 (68) しん風会 三郷明盛 2379-3 0263-77-4490		猪狩 久美子 (58) 日本共産党安曇野市議団 穂高柏原 2414-11 0263-82-2992		萩原 勝昭 (65) 無所属 穂高 7905-1 0263-82-5426
	小松 芳樹 (48) 公明党 三郷温 7238 0263-77-4337		藤原 陽子 (58) 公明党 豊科高家 5991-1 0263-72-1721		畠山 倉光 (62) 信進クラブ 穂高有明 2842 0263-83-3118
	青嶋 智隆 (65) しん風会 豊科 4474-1 0263-72-2737		山地 重雄 (57) 無所属 穂高 1264 0263-82-3498		高橋 浄 (64) しん風会 豊科田沢 6478 0263-72-7800
	内川 集雄 (58) 平 豊科光 1887-1 0263-71-2231		相田 登美枝 (70) 無所属 豊科 2534-2 0263-73-2030		小林 紀之 (66) 信進クラブ 豊科 2303-1 0263-72-4785
	小林 純子 (55) 無所属 穂高有明 2104-10 0263-83-4387		大月 晃雄 (62) 新生会 明科中川手 3771-1 0263-62-3000		松澤 好哲 (65) 日本共産党安曇野市議団 堀金烏川 3645-1 0263-73-9330
	松尾 宏 (65) 平 豊科高家 5412-イ-1 0263-72-4314		下里 喜代一 (46) 日本共産党安曇野市議団 明科東川手 11667-17 0263-62-5202		山田 高久 (70) 新生会 豊科高家 1715 0263-72-3817
	平林 徳子 (66) 新生会 三郷小倉 5367-1 0263-77-3516		松森 幸一 (59) 公明党 穂高有明 7412-19 0263-83-6061		高山 栄 (71) 信進クラブ 穂高北穂高 1463 0263-82-3305
	浜 昭次 (61) 平 三郷明盛 360 0263-77-8095		黒岩 宏成 (65) 信進クラブ 堀金烏川 4691-4 0263-73-4324		宮下 明博 (61) 信進クラブ 明科七貴 4073 0263-62-2622
	吉田 満男 (63) 無所属 穂高有明 6316 0263-83-2123		丸山 祐之 (62) 平 豊科南穂高 4835 0263-72-2764		藤原 広徳 (68) 信進クラブ 穂高牧 706 0263-83-2892

議長・副議長就任あいさつ



副議長
丸山 祐之

昨年11月6日の臨時議会におきまして、選挙により副議長に選出されました。藤原議長が所信表明で示された議会運営に対する考え方や、行政執行する市長に対して議会のあるべき姿勢、また、議会自身の改革の方向性について、基本的に賛同いたします。

もとより副議長の役割は、法的には市長、副市長の関係のごとく補助機関ではありませんが、日々の活動におきまして、議長の議会運営におけるよき相談相手となるよう、また、建設的提言ができるよう努めます。

まいります。

また、地方自治法上の副議長の職務は、「議長に事故あるとき、または、議長が欠けたときに議長の職務を行う」とあります。そのような事態が生じないことを願っておりますが、万が一その立場になった際は、公平無私、中立的立場を堅持して、地方自治法、会議規則等の関係法並びに会議原則にのっとり公正に判断していく所存でございます。

安曇野市の発展のため、市民の皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。



議長
藤原 広徳

議員各位のご支援を賜り不肖私が議長に就任をすることとなりました。安曇野市では総合計画を柱に、計画から実施に向けた取り組みがなされておりますが、地方分権が進められる中で、議会が担う役割はますます重要になってきております。

議会は、公平・公正な立場で、議論の過程を明らかにし合意形成を図り、透明度のある開かれた議会を推進し、市民の負託に応えてまいります。

また、世界同時経済危機が続く中で、景気対策を最優先にし、喫緊の課題であります本庁舎建設、土地利用

用制度制定や第3セクター経営不振対策、一般廃棄物最終処分場建設場所等の問題については、基本姿勢をしっかりとチェック、議論、見極めをし、議会としての立場を明らかにしてまいります。

議会改革については、議員定数等の課題と議会基本条例について早期に議論を始め、議会と市民の皆さんとの距離を一層近づける努力をすることを、執行機関と議会が緊張感を保ち、切磋琢磨し合う姿勢で安曇野市の発展を目指してまいります。

市民皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

第三回臨時会

安曇野市議会議員の一般選挙後の初議会となる、第3回臨時会が、11月6日開催された。

議案審議に先立ち、議長と副議長の選挙が行われ、議長に藤原広徳議員、副議長に丸山祐之議員が、それぞれ選ばれた。

詳しくは議案の審議結果(P7)をご覧ください。

人事案件

・村上広志氏の副市長の選任について、同意した。

・教育委員の任命について左記の2氏について同意した。

古幡開太郎氏
丸山 武人氏

・監査委員の選任について左記の2氏について同意した。

山中 崇氏
黒岩宏成氏
(議会選出)

安曇野市議会委員会構成

◎委員長 ○副委員長

委員会名	所管事項	氏名
総務委員会 (定数8人) 平成21年11月6日から	総務部、企画財政部、会計局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、議会事務局の所管に属する事項、他の委員会の所管に属さない事項	◎松森 幸一 ○松尾 宏 萩原 勝昭 小松洋一郎 松澤 好哲 平林 徳子 高山 一栄
環境経済委員会 (定数7人) 平成21年11月6日から	市民環境部、産業観光部、農業委員会の所管に属する事項	◎吉田 満男 ○高橋 浄 畠山 倉光 大月 晃雄 下里喜代一 黒岩 宏成 丸山 祐之
福祉教育委員会 (定数7人) 平成21年11月6日から	健康福祉部、福祉事務所、教育委員会の所管に属する事項	◎山田 高久 ○召田 義人 猪狩久美子 藤原 陽子 相田登美枝 浜 昭次 宮下 明博
建設水道委員会 (定数6人) 平成21年11月6日から	都市建設部、上下水道部の所管に属する事項	◎小林 紀之 ○青嶋 智隆 小松 芳樹 山地 重雄 内川 集雄 小林 純子
議会運営委員会 (定数8人) 平成21年11月6日から	議会の会期及び議事日程等議会運営上必要な事項の所管に属する事項	◎浜 昭次 ○松澤 好哲 小松洋一郎 青嶋 智隆 大月 晃雄 松森 幸一 高山 一栄 宮下 明博
議会広報特別委員会 (定数10人) 平成21年11月6日から	「安曇野市議会だより」の編集及び運営に関する事項	◎小林 純子 ○内川 集雄 萩原 勝昭 猪狩久美子 畠山 倉光 小松 芳樹 藤原 陽子 高橋 浄 山地 重雄 相田登美枝

組合議会等議員構成

(平成21年11月25日現在)

組合議会等名称	所属議員
松本広域連合議会議員	藤原 広徳 内川 集雄 高橋 浄 平林 徳子 松澤 好哲
安曇野・松本行政事務組合議会議員	丸山 祐之 小松洋一郎 召田 義人 松澤 好哲
安曇野松筑広域環境施設組合議会議員	藤原 広徳 浜 昭次 青嶋 智隆 藤原 陽子 大月 晃雄 小林 紀之 畠山 倉光 下里喜代一 吉田 満男 山地 重雄
松塩筑木曾老人福祉施設組合議会議員	下里喜代一
穂高広域施設組合議会議員	藤原 広徳 松尾 宏 召田 義人 松森 幸一 山田 高久 高山 一栄 小松 芳樹 猪狩久美子 萩原 勝昭
安曇野市民生委員推薦会委員	山田 高久 召田 義人
安曇野市社会福祉協議会評議員	相田登美枝
安曇野市都市計画審議会委員	小林 紀之 青嶋 智隆 宮下 明博
安曇野赤十字病院経営審議会委員	藤原 広徳 小林 紀之

12月定例会 市長所信表明

「共に響き合える安曇野を目指して」

市民の一体感を持ち市民全体が
活気に満ちた魅力ある地域づくりを目指す

共に響き合える安曇野を目指し
現場の声を大切に、7つの政策を
誠心誠意全力で実施する。

**笑顔の行政サービスからの
まちづくり**

明るく元気な挨拶を通し、親切
かつ迅速に対応し、市民と行政の
信頼構築。民間活力の導入、地方公
共団体、民間企業との人事交流を
図り、事業性を意識した専門性の
高い職員育成を図りたい。

**元気な産業と安定雇用の
まちづくり**

安曇野の象徴、緑豊かな田園風
景を守る農業は大切な産業。工業・
商業・建設業・サービス業・観光
業など、異業種が連携し併せて産
学連携で地場産業の活性化を図
り、各種の振興施策を策定し、各

産業の発展を目指し、安定雇用と
市の自主財源確保に努めたい。

**安心・安全・支えあいの
まちづくり**

市政が市民生活の現場に近づき
市民も行政運営に近づくその重
り合いのなかで、市民と行政が協
し合い住みやすい地域づくりの仕
組みを考える。隣組など自治区
の絆を強め、全ての市民が支えあ
い、安全に教育を受ける支援体制
の整備、防災対策に取り組み安心
全のまちづくりの強化を図りたい。

健全財政と積極的な情報公開

厳しい財政状態のなかで歳入に
おける自主財源の確保。産業振興
と雇用確保、税の収納率向上、不
要財産処分。歳出の一層の経費削
減。「行政経営改革プラン」「人事



安曇野市長
宮澤 宗弘

評価制度」による事務事業の効率
を図り、「行政評価制度」に基づ
き既存事業の見直しを進める。市
のホームページに「市長活動日誌」
コーナーを設ける。市民の声を聴
く懇談会を開催し市民の声を傾
け、行政情報の公開を進める。

**福祉の充実と次世代育成の
まちづくり**

小中学校施設の耐震化を早期実
現させ老朽化した保育園施設の建
設を進める。保育料の見直し、子
どもの医療費の助成拡大を推進す
る。子どもから高齢者までが元気
で暮らせるまちづくりを目指す。

**安曇野が踊る観光の
まちづくり**

通過型観光から脱却し、都市と
地方の交流促進。安曇野の農産物、

安曇野ならではの体験・感動をア
ピールし、温泉資源を融合した滞
在型観光を図りたい。

喫緊の4課題の取り組み

① 本庁舎建設問題

時間的制約があり、行財政の効
率化と防災拠点、市民の活動拠点
として、必要最小限の本庁舎建設
は最優先に取り組む。

② 一般廃棄物の最終処分場
建設問題

日常生活のうえでなくてはなら
ない施設。自区内処理の原則のも
と、市民に誠意を尽し、最終処分
場の計画内容を説明し、施設確保
に向け取り組む。

③ 土地利用問題

線引き制度を廃止し、自主条例
による農業・商工業の振興・住環
境保全のバランスのとれた制度作
りを進める。

④ 安曇野菜園問題

経営を継続し、経営管理、栽培
技術の強化を図り、施設の設置目
的を達成するとともに、会社の再
建を目指す。

議案の審議結果

平成 21 年安曇野市議会第 3 回臨時会 (11 月 6 日)

選挙	件名	結果
議長の選挙		当選
副議長の選挙		当選
松本広域連合議会議員の選挙		当選
安曇野松筑広域環境施設組合議会議員の選挙		当選
穂高広域施設組合議会議員の選挙		当選
安曇野・松本行政事務組合議会議員の選挙		当選
松塩筑木曾老人福祉施設組合議会議員の選挙		当選

市長提出議案

議案番号	件名	結果
報告第29号	地方自治法第 180 条の規定による専決処分の報告について (自動車事故に関する事)	受理
報告第30号	地方自治法第 180 条の規定による専決処分の報告について (天蚕センター隣接土地の和解に関する事)	受理
議案第116号	副市長の選任について	同意
議案第117号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第118号	監査委員の選任について	同意

議員提出議案

議案番号	件名	結果
議案第12号	安曇野市議会議会広報特別委員会の設置について	原案可決
議案第13号	安曇野市議会常任委員会委員の選任について	選任
議案第14号	安曇野市議会議会運営委員会委員の選任について	選任
議案第15号	安曇野市議会議会広報特別委員会委員の選任について	選任
議案第16号	安曇野市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決

平成 21 年安曇野市議会第 4 回臨時会 (11 月 26 日)

議案番号	件名	結果
報告第31号	地方自治法第 180 条の規定による専決処分の報告について (道路事故に関する事)	受理
議案第119号	安曇野市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第120号	安曇野市一般職の職員等の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第121号	安曇野市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第122号	学校情報通信機器購入に係る売買契約について	原案可決
議案第123号	学校図書館管理システム購入に係る売買契約について	原案可決
議案第124号	監査委員の選任について	同意

平成 21 年安曇野市議会 12 月定例会 12 月 1 日開会し会期 22 日間をもって 12 月 22 日に閉会

市長提出議案

議案番号	件名	結果
議案第125号	安曇野市特別職の職員等の旅費又は費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

議案第126号	安曇野市重度心身障害者福祉金に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第127号	安曇野市社会就労センター条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第128号	安曇野市学校施設使用条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第129号	安曇野市公衆便所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第130号	平成 21 年度安曇野市一般会計補正予算 (第 4 号)	原案可決
議案第131号	平成 21 年度安曇野市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
議案第132号	平成 21 年度安曇野市老人保健特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
議案第133号	平成 21 年度安曇野市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
議案第134号	平成 21 年度安曇野市介護保険特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決
議案第135号	平成 21 年度安曇野市下水道事業特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決
議案第136号	平成 21 年度安曇野市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
議案第137号	平成 21 年度安曇野市有明山林財産区特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
議案第138号	平成 21 年度安曇野市水道事業会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
議案第139号	市道の廃止について	原案可決
議案第140号	市道の認定について	原案可決
議案第141号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第142号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
報告第32号	地方自治法第 180 条の規定による専決処分の報告について (自動車事故に関する事)	受理

議員提出議案

議案番号	件名	結果
議案第17号	食料の自給力向上、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正を求める意見書	原案可決
議案第18号	議員の派遣について	原案可決
議案第19号	地方議会議員年金制度の廃止を求める意見書の提出について	否決

請願

受理番号	件名	結果
請願第5号	安曇野市で購入する本について	継続審査
請願第6号	食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める請願	採択

陳情

受理番号	件名	結果
陳情第7号	EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する陳情	継続審査

選挙

件名	結果
選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	当選

12月定例会で決まりました



穂高有明山麓地域の下水道整備は現在進行中

地方議会議員年金制度の廃止を求める意見書の提出について
賛成少数で否決

◆反対 当議会は議員年金制度を廃止する意向でま
とまり、県の議長会にも伝
えている。これは議長会に
任せるというのが筋であ
り、廃止を求める意見書を
改めて提出することには反
対。

◆賛成 この年金制度は
23年度には破綻する。議員
は率先して取り組むべきで
ある。総務省の年金制度検
討会の報告が年内に出る
が、その前段に意見書を提
出することこそ意義があ
る。

◆反対 当議会(議長)
は議員年金制度廃止の意思
を、県の市議会議長会で表
明した。そうであればこそ、
議会の総意として意見書を
提出したい。どういった形
で議員年金制度に取り組む
のが適切であるか、勉強し
てからにすべき。

◆賛成 議長が廃止の立
場を表明しても、最終的に
は議長会の決定に従うとい
うのは、言わずもがなのこ
とである。当市議会として、
議員年金制度は廃止すべき

◆反対 意見書の趣旨に
は賛成だが、公的3年金に
加えて、議員にだけ一般国
民と異なる二つ目の受給資
格があること自体を問題に
すべきである。意見書を提
出するならば、国全体の公
的年金制度の再構築を促す
附帯的意見を添えるべきで
ある。

平成21年度安曇野市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
賛成多数で可決
本会議 委員長の報告に対する質疑

Q 下水道事業の進捗状況
は、穂高地域が極めて遅れ
ている。合併浄化槽の設置
の検討を含め、市全体の下
水道事業を見直していくこ
とも必要ではないか。委員
会での議論がどうだったの
か伺いたい。

A 穂高地域については、
整備範囲が広大であるとい
う地域的な問題があり、ま
だ時間がかかる。今後の起
債償還のことも考慮し、経
費削減、建設費削減という
方向で、合併浄化槽を使っ
ていくことも今後検討して
いきたい。

平成 21 年度安曇野市一般会計補正予算 (第 4 号) の概要

補正予算額 1,400 万円を追加し、補正後の予算額 362 億 1,900 万円

◆歳入について 地方交付税や各事業に伴う国県支
出金等を追加し、基金繰入金、諸収入、市債などを
減額計上。主な内容として地方交付税は 11 億 125
万 8 千円増額、基金
繰入金・財政調整基
金は 9 億 4,490 万 6 千
円の減額、合併特例
債、防災行政無線整
備費は 1 億 200 万円
の減額。



◆歳出について 介護給付費、訓練等給付費、生活
保護扶助費、新型インフルエンザ予防接種費、中小
企業振興資金貸付事業費などを増額計上し、子育て
応援特別手当平成 21 年度版の事業中止や、工事な
どの入札差金により減額計上した。主な内容として
介護給付費・訓練等給付金 1 億 6,000 万円、生活保
護給付費 1 億 4,600 万円、新型インフルエンザ予防
接種費 5,662 万 1 千円、中小企業振興資金貸付事業
費 3,700 万円をそれぞれ増額。子育て応援特別手当
平成 21 年度版は 9,550 万 8 千円の減額。



市長の政治姿勢と市政運営について

現場主義と対話重視の市政運営を

信進クラブ 高山 一 栄

Q 安曇野市は5町村が対等合併して生まれた新市で、旧町村の自治体制を調整しながら、また、市としての自治の在り方を模索しながら確立して行く道程にある二期目だ。そこで、最も大切な事は地域のバランスを考えた行政施策である。合併により財布が一つになったわけである。地域的な格差が出ないような行政配慮、公平・公正が保たれた思いやりの政策で対応していくことが必要だ。一体感が持てるまちづくりのために、今後の基本的市政運営にかかっている。行政と議会との関係、また市政との関係、安曇野市の成長戦略をどのように考えているか。

A (市長) 安曇野市のどこに住む方でも、大切な安曇野市民であり、共に支えあう地域づくりを目指している。軽重意識をもったことはない。穂高地域は観光ゾーン、三郷、堀金地域は農業ゾーン、豊科地域は商業、明科地域は里山と水郷の里といったイメージがあり、地域の特色を最大限生かしていくことが、地域バランスをとる上において最も大切なことだと認識をしている。課題は多数にわたるが、それぞれの地域の個性を大切に、一つずつ解決することで、その相乗効果によって市全体の活性化を図っていきたい。現場主義と対話重視を自身の政治姿勢と捉えている。市議会との関係は、行政の運営上、首長と議会は車の両輪に例えられている。執行機関と議会は、独立・対等の関係に立ち、相互に緊張関係を保ちながら住民福祉の向上と安曇野市の発展を目指して、協力して市政運営にあたりたい。

Q 市三役執行体制、人選人事について市長の特別な任命権であることは承知しているが、三役執行人事について

A (市長) 市民からもそういうことは聴いているが、ベストメンバー、良きパートナーとして選んだ。一刻も早い課題の解決のため、適材適所主義を念頭に人選した。今後の市政運営をしていくうえでも、常に公平公正を貫き、我田引水は決してない。

宮澤市長の政治姿勢について

市民党の立場を貫いていきたい

平 浜 昭 次



Q 半世紀に及ぶ自民党政権が民主党に代わり、市長はその推薦を受けられた。その事は市長にとってこれからの市政運営にどの様に生かされるのか。

A (市長) マイナス要因とはならないが、地方が重要なのは、与野党の区別なしに常に地方の声を国政に届け、要望の実現と市政発展のために努力して行く。

Q 一期目、平林市政についてどの様に考えているか。

A (市長) 平林市政が掲げた施策について未だ十分な検証は出来ていないが、議会と共に切磋琢磨しながら誠心誠意取り組んで来られたと思っている。

Q 平林市長は、「五つの流れを一つの豊かな流れに」をスローガンに掲げられたが、宮澤市長においては、法定マニフェストに大きく七つの公約をうたっているが、余りにも漠然としたもので具体性に欠けると言わ



光あふれる安曇野

ざるを得ないと思うが、その中身について多少は説明頂けるのか。

A (市長) 私のマニフェストは具体的な数値目標や財源目標は明確にはしていないが、地方行政において財源的に極めて不透明な時期であり行政運営に関する基本理念、あるいは今後必要となる施策の目標を発表し、議会や市民の皆さんと共にその実現に努力して行く。

Q 行政手法の一つとして、各種委員会を組織して民意を問うとの方式は何も安曇野市に限ったものでは無い事は理解しているが、宮澤市長は今後どの様に考えるか。

A (市長) 自身、議員の時はこの審議会、委員会は執行部側の意見をリードするための隠れ蓑に使っているのではないかと、言う様な疑問を持った事もあった。従って今後は庁内で議論すべきか、審議会や検討委員会に委ねるべきなのか、充分吟味をして決定



危機管理室を置く堀金総合支所

Q 八カ所に分散した職員の危機意識の統一と、言う事について、仮の姿であっても、今できる事として何をやるのか。

A (総務部長) 月一回行っている部長・支所長連絡会議の後の行政経営会議を含めて、月三回の行政経営会議を開催し、まず幹部職員に市長の思いを告げ、更に各総合支所に市長が出向き、係長クラスとも直接対話ができるようにして行く。

他に新年度予算編成に、重点目標並びに優先順位について質した。



Q 行政経営改革プランの狙いと重点項目並びに達成度と、効果及び金額を伺う。

A (総務部長) 合併は究極の行革とも呼ばれ、事務事業の再編・整理・廃止・統合や見直しなど調整が必要だった。同時に計画的な行革を推進して合併後の行政体制を適正に整えることが、このプランの目的である。重点項目は、市民と協働による市政の推進、健全な財政基盤の確立、職員管理・給与の適正化、業務の効率化・スリムで柔軟な組織・人事体制の構築、公共施設の効果的利用の6つである。本年度42項目のプラン中70〜80%は達成できる見込みである。前年度の歳入面ではホームページや広報紙に企業名を掲載した広告料などで約4900万円、歳出面では指定管理者制度の導入などで約1億3700万円の経費削減見込みである。また、職員の適正化計画では4月1日現在777人で計画

値を1年前倒しできた。

Q 効率的かつ質の高い行政施策展開方法について伺う。

A (企画財政部長) 重要施策の審議、決定は、従来の庁議から行政経営会議や経営戦略会議に切替え、今年(21年)の7月から実施している。新たな行政経営手法として、行政評価(事務事業評価制度)を導入し現在467件の項目を取り上げ試行段階中である。これらの結果を踏まえ、翌年度の重点事業内容が部局経営方針シートにまとめられ、経営戦略会議に諮り資源の投入状況や効果を把握し決定する。

Q 「要望」経営管理システムを早期に立ち上げ、行政の体質改善を望む。職員の教育実施状況を伺う。

A (市長) 時代の流れに即応できる人材育成が求められるため、行政運営能力を高めるために、年齢や階層に応じた教育を計画的に実施している。また、職員の潜在能力を



人事評価研修の様相

最大限に発揮できる人材育成に努めることが、市民サービスの向上に大きく寄与すると考え、市民あつての職員であると言う自覚をしっかりと持っていたらどうか指導していきたい。

Q (職場内研修)の取り組み状況は。

A (総務部長) 現在試行的に、部下との個人面談を通じて求められる能力や、気づきを与える機会とともに自主的な学習を促すことで職員のスキルアップが出来るよう考えている。また、OJT(職場内研修)による人材育成は、管理監督職の最も重要な仕事であり日常業務の中で徹底して行きたい。「提案」各支所間交流会や情報収集出張の促進。



合併からの弊害、負の財産の継続化健全財政を求める 負の財産解消に努める

にほんきょうさんとうあづみのしぎだん 日本共産党安曇野市議団 松澤好哲

Q 市の借金は947億円あり、その内7割が合併によるものである。借金を減らし循環型健全財政を求める。

A (市長) 土木関連工事は市内業者に発注し施工している。市内の産業振興が必要。負の遺産解消に努める。

Q 保育料の値下げ、国民健康保険税の軽減を！中学卒業までの窓口医療の無料化を！

A (市長) 保育料の軽減は近隣を参考に来年度より実施する。義務教育医療費無料化は来年度より拡大する。近隣市にひけを取らない内容で検討する。

新庁舎建設よりも暮らし優先の市政に

Q 滞納者の増加、年金で暮らせない世帯の増加、国の財政や景気の悪化で市民の暮らしは大変だ。こんな時60億円もの庁舎を建てるべきでない。ある物を使い、本庁機能を最小限に集約し効率行政を行い、総合支所の充実で住民サービスの向上をはかるべきである。合併特例債と自主財源での建設はどちらも借金を増やすだけ、また、農地法の改正でも困難である。市長の施政方針の苦しいと言う財政からも困難ではないか。

A (市長) 本庁舎を建設し、本庁機能を集約することで住民に迷惑がかからないようにしながら無駄を省き、市民サービスの向上につなげるべきである。そのためにも必要最小限度の新庁舎建設を進める。有利な合併特例債を活用し後年度への負担をなくしたい。

市の農業基本構想は

Q 安曇野市の農業基本構想策定を！

A (市長) 基本構想計画を策定していく。

安曇野市10万人の医療体制は

Q 子どもの産める安曇野市と10万人の医療体制を。

A (市長) 産婦人科は日赤、子ども病院と密に連携していく。

平和都市宣言について

Q 安曇野市の平和都市宣言を早急に。

A (市長) 恒久平和は人類共通の理念である。わが国は唯一の被爆国であり、再び戦争の惨禍を繰り返してはならない。市民に浸透する内容で市民に平和を感じられる宣言にしたい。



県立こども病院



安曇野市の経済状況について 工業生産が多かっただけ悲惨

しんせいかい 新生会 大月晃雄

Q 安曇野市の経済状況は悲惨である。円高輸出不調、量産品の中国移管、受注がない。不景気による設備投資減、住宅新築着工件数減。受注があっても利益が出ず、公共事業の削減、高額商品が値下げしないと売れず利益が出ない。消費の低迷とデフレが同時にやってきた。日銀の短観はマイナス幅が減った中小企業で工業、商業は全くだめ。松本市の青果市場では全く売れていない。大型店も売れていない。円高とデフレ対策を大至急やらないと中小企業は干し上がってしまふ。商工会では市の制度資金利用者が少ない。4月～11月県の制度資金125件、市の制度資金23件と使い勝手が悪い。市の制度資金を使いやすくしてほしい。商工会に聞くと、100万、200万の金がすぐ出る方法が欲しい。年末年始対策は真剣に取り組んでいるか。ハローワークに聞くと、雇用調整助成金の補助を受けている企

Q ハローワーク松本の求人倍率、10月は0.52倍最悪な数字。市民の所得も減っている。一度離職すると全く職がない。生活もどん底。生活保護も増加。自家用車を持っている人、家のローンも払っている人は生活保護を受けられない。また、生活保護の申請をしてからその間最低2週間



ハローワーク松本のHPより

A (産業観光部長) これらの意見を大事にし、使い勝手の良い制度、100万、200万の融資が簡単に受けられる制度にした。

A (健康福祉部長) 生活保護手前の困っている人への貸付制度を他市を参考に検討する。市長の公約で22年度実施は何か。

A (市長) 子育て支援、保育料のあり方、医療費の無料化、庁舎建設を一步前進させ、市民の負担に込めたい。

A (産業観光部長) 1月の調査では124社のアンケートで貸金カット32社、雇用調整による解雇が正規職員96名、非正規職員が675名。深刻で尋常でない。早急に対策を形作っていく。



「笑顔の行政サービス」の意識改革の徹底は 早期に職員との懇談の機会を持つ

こうめいとう 公明党 松森幸一

Q 首長としての意志決定、リーダーシップについて。①政策に市民の声を集約する手段である審議会や委員会のあり方について、「現場主義」を掲げる市長の考えは。②所信表明の政策理念・第1項目「笑顔の行政サービス」の意図および職員の意識改革の徹底や資質向上は。

A (市長) ①条例にある審議会・委員会に、条例を尊重し必要に応じて諮問し答申を受ける。要項や要領で設置しているものは、内部でテーマごとに必要性を慎重に検討する。審議会・委員会方式にこだわることなく、市民に直接に接して把握した意見や要望を持ち寄り、部長支所長会議や経営者会議等の庁内会議で議論し決定していく手法もあっていく。

②行政は市民へのサービス業である。職員が明るく元気なあいさつで市民を迎え、親切な対応や言葉かけをすることは基本であり第1項目に掲げ

た。意識改革を徹底するため本議会が終了後に、できるだけ早い機会に課長や係長職、一般職との懇談の機会を持ちたい。また、専門性が高い職員の育成、より迅速・親切的な対応をするために、職員が民間感覚を養うことは、重要な課題と考え、民間企業との人事交流を模索している。当面は、窓口の職員や若手職員の接遇などの短期研修ができたかと考えている。

A (市長) 自治体間競争には、なかなか厳しいものがあるが、競争という意識は非常に大切なことと考える。ただ、サービス合戦になれば、財政問題が伴い自治体間の地域格差が生じてくるので、憲法で保障されている必要最低限の生活を営むための国民の生活を守る基盤というものは、国の課題であると認識している。政策理念に掲げた、福祉の充実と次世代育成のまちづくり等については、積極的に取り組む方針である。子どもの医療費無料化と保育料の近隣市町村との比較については、他の施策や予算との見合いの中で、できるだけ早く方向性を打ち出して、市民に伝えたい。



市民福祉課窓口

平成 21 年安曇野市議会 12 月定例会一般質問

18 議員 市政を問う 市政のここが聞きたい!

一般質問とは？

定例議会においては、議員は一般質問ができます。一般質問というのは「市政一般に関する質問」を略した言い方で、議員が市政に関するさまざまな問題について、市長や部長など行政の執行機関に質問することをいいます。

質問といっても、知らないことを聞くのが「一般質問」ではありません。知らないことや分からないことは、前もって調査・研究をし、それをもとに行政側・市執行部を問い質し、議論するのが一般質問。質問することにより、市の政策や仕事の仕方の見直しや、変更をさせたり、新たな政策提案をすることに目的があるのです。



福祉の充実と次世代育成のまちづくりとは 成人検診、保育料、医療費無料化の検討



松尾 宏

Q 市長の所信表明にある福祉の充実と、次世代育成のまちづくりについて、具体的な事業を含めて伺う。

A (市長) 少子高齢化時代を迎えて、一つには成人検診において、自己負担を少なくし、受診率の向上を、二つには子どもの健全育成および、親の負担軽減のために、保育料の検討、医療費無料化等を検討している。

Q 福祉の充実のため、生涯学習推進計画の背景、および現状と今後について伺う。

A (教育次長) この計画は「誰でも、いつでも、気軽に学べるまちづくり」「学びの成果が生かされるまちづくり」の二つの基本目標を掲げている。生きるための技や智慧、人生を楽しむための趣、それらを身につけるための学校支援地域本部事業などの活用を図り、先輩から子育ての知



新築待ちの豊科南部保育園

Q 子育て支援において保育料を安くして欲しいとの要望が多い。市の考えは。

A (健康福祉部長) 現在の保育料を見直し、子育て支援の一助となるよう考えたい。

恵の伝承、子どもが地域の宝という意識を高める取り組み、それらを支援する施策等により、多角的に施策が展開されるよう考えている。子育てに関しては、庁内の組織が連携し、副市長を本部長として、生涯学習推進本部を新たに設置する。また、生涯学習推進市民会議の設置をし、市民からの意見や提言をいただく。

Q 入園の要件の難しさの解消や、子育て支援ができる機能を持った「認定こども園」について市の考えは。

A (健康福祉部長) 私的契約児解消の為に、認定こども園制度を今後検討する。

Q 農業活性化の具体的な考えと、農業基本計画策定の考えは。

A (市長) 農業を守るには、農家の所得向上が必要。他の産業、異種目連携を図り、農産物のブランド化で付加価値をつける。地産地消運動推進として、直売所の充実が必要。学校でも農業教育を取り入れてもらいたい。JAや農業委員会との連携を深めていきたい。

A (産業観光部長) 農業振興計画は次年度から着手していく。

各種基金は総合計画や宮澤市政の方針と整合すべき 新市の一体感を持つ上からも見直しは必要



丸山祐之

Q 合併以降、設置目的のために使用されていない基金があるがどのような事情か。特にソフト事業基金について。

A (会計管理者) 一般会計と特別会計で34の基金があり、14億1000万円である。合併以来使われていないソフト事業基金は4基金である。

A (総務部長) 青少年交流事業支援基金は、クラムザッハとの交流のなかで青少年が国際交流する場合に用いる。計画があるような場合に使う。

A (教育次長) 名誉市民田淵行男顕彰基金は、来年事業を計画している。他に人材育成基金、青少年健全育成基金があるが、青少年交流事業支援基金とは、設置目的に類似性があると思う。これらについては、事業の妥当性やどのように継続させてゆくのか、基金の

一本化・調整も含め検討する。

Q 国際交流基金は、安曇野市国際交流協会へ補助金を出している。この基金条例では「この基金は三郷の国際交流のみに使うものとする」となっている。しかし、当該協会の活動は三郷地域に限定されておらず、条文との整合性が無いと思うがどうか。

A (総務部長) 合併協議会の幹事会で「各町村が持ち寄った目的の異なる基金は5年程度存続し、設置目的に沿って活用する。ただし、その用途は原則旧町村単位とする」ということを確認した。国際交流団体は市内に各種あり、現在一本化に向けた話し合いも進めている。今回の基金の使用については「原則及びおおむね5年をめぐり」との合意の中から一部使ったというところで理解願いたい。今後、条例改

Q 正を含めて検討していく。議会では度々宿泊施設事業は市から分離すべきとの議論がある。その中で市は現在、宿泊施設関連基金の統一、一元化に向けた検討をしていると思うが、その工程について伺う。

A (産業観光部長) 現在、各施設毎に整備基金や運営基金を持っており、必要に応じて修繕費に充てている。単独の基金だけでは対応できないケースもある。基金を統一し、長期的な計画に基づいて対応できる体制にしたい。目標年度は指定管理との関係もあり24年度である。



ほりでーゆー～四季の郷

他に経費削減対策について質問した。

後期高齢者に人間ドックの補助新設を 後期高齢者健診の検査項目の充実を図りたい



平林徳子

Q 「元気な高齢社会を目指して」伺う。後期高齢者へ人間ドック補助新設ができないか。

A (市民環境部長) 後期高齢者の健診は「長野県後期高齢者医療広域連合」が実施することになっており、委託を受けて行っている。市としては受診費用の負担の少ない後期高齢者健診の検査項目の充実を図り、介護予防活動に重点を置き取り組みたい。

Q 人間ドックと脳ドックを同時に受診した場合の補助について。

A (市民環境部長) 同時受診が各病院で何人いるかを精査し、よい方向にいければと検討している。

Q 特定健診について、心電図、眼底検査等項目の充実は。

A (市民環境部長) 周辺各市町村の中でも特定健診の受診率が低いことと、加入者からの要

望もあるので、検査項目の追加を検討している。



特定健診・後期高齢者健診

Q 畜産臭気対策研究会の研究成果は。

A (産業観光部長) 畜産臭気対策モデル事業を効果的に進めるために設置し、7月1日から11月27日まで4回開催した。第1回目は畜舎や堆肥舎等へ散布する消臭剤を決定し6戸のモデル農家を選定。2回目は堆肥の良好な発酵を助ける資材の検証をし、三郷堆肥センターで試験使用決定。3回目、スラリー(家畜のふん尿、液状のもの)

Q 畜産臭気対策研究の必要性について。

A (産業観光部長) 臭気対策について効果的、持続的な方策を設備投資も含めて支援が必要だと考える。

他に住民サービス向上のための組織整備について質問した。

本庁舎建設と総合支所について

明科総合支所は公民館と併設で前倒し建設



宮下明博

Q 市長の本庁舎建設に対する思いは。

A (市長) 早期に必要な最小限の本庁舎の建設を行い、支所のあり方等についても、効率的な行政運営ができるよう努めていきたい。

Q 私は本庁舎建設の一番重要なポイント

は行財政改革だと思つて。現在8カ所の分庁を1カ所にまとめ総合支所のあり方を考えれば、職員数を100人前後減らすことができ、年間約5億円節約できる。本庁舎建設に特例債をつかえば6年ぐら



明科総合支所

Q 5地域の総合支所

合総合支所も公民館も耐震基準を全く満たしておらず、耐用年数も迫っており建替えの時期が来ていると思つて。モデルケースとして総合支所、公民館併設で建設をして頂き

たいと思うがどうか。

A (市長) 公民館機能等と併用することは行政改革の上からも有効だと考える。前倒しで実施し、地域の皆様方の期待に応えたい。

土地利用管理制度に関する市の方針

Q 平林市政では田園

宮澤市長は田園産業都市を掲げている。土地利用管理制度に関する方針と

A (市長) 安曇野の財産である田園風景、自然環境を残しながら、開発できるところは一定

程度開発をし、産業の発展、雇用の確保、税収の確保等も図っていく。

他に職員の処遇、旧5町村の平均化について質問。早い時期に全般的に給与体系の見直しを図り

Q 行政職員の人事評価は、民間企業と違い、市民に対するサービスであり、業績が目に見えなく、評価の判断が難しい。また、大多数の職員と職場八カ所の特殊環境の中、公平な評価が

されているのか。職員にとつても重要な職階、昇格選考への活用

A (市長) 人事評価制度は能力評価と業績評価、二つの制度で構成し、能力や仕事の成果を公平かつ公正に評価し、その結果を本人にフィードバックして人材育成、

Q 市は3町2村の合併間もなく、歴史は

浅く、高度な行政対応が出来る職員、職場環境でないと考える。今後職員育成に国、県の機関へ研修に出さないか。

A (市長) 人材育成に向けて、出来る限り、

市職員の人事評価制度をどう生かすのか

人材育成・組織の活性化に役立てたい



小林紀之

ある。今後の活性化対策

A (市長) 穂高温泉郷を今後どのように生かすかは、観光産業等を含め、地域経済に大きな影響と重要な課題だと思つている。今後温泉郷一帯を含めて、いやし、健康づくり、または、医療関係との連携を深めて、さらには滞在型の観光を促進し、関係の皆さん方と連携を深め、県内外から大勢の皆さんが訪れていただけるような対策を

図っていく。

他に市観光協会の活動と評価について質問した。



穂高駅前観光案内所

Q 日本経済の低迷、不況により、市の観光重要拠点の穂高温泉郷は大変苦しい経営環境に

安曇野市観光行政と穂高温泉郷活性化は

A (市長) 穂高温泉郷は観光産業等を含め、地域経済に大きな影響と重要な課題だと思つている。今後温泉郷一帯を含めて、いやし、健康づくり、または、医療関係との連携を深めて、さらには滞在型の観光を促進し、関係の皆さん方と連携を深め、県内外から大勢の皆さんが訪れていただけるような対策を

トマト三セク問題、さらなる税金投入は許されるか



小林純子

Q 新市長は安曇野菜園の経営再建を目指す方針だが、どこに改善の余地があるのか。

A (副市長) 第一に技術面の改善である。近々(株)カゴメから常勤体制で本格的な技術指導が入る。技術力を高めれば、売上目標3億8000万円、9000万円が見込まれ、黒字経営になる見通し。また、今まで経営内容が不透明だったので、情報公開を徹底させる。

Q 決算や資金繰りの現状は非常に厳しい。先行きが見えない中で、さらに市の支援、税金の投入が許されるのか。

A (市長) 退くも地獄、進むも地獄の状況。今撤退することになれば、市の財政負担は約15億円。20億円を投じた施設を放置することもできない。黒字は無理でも、せめて収支とんとんになればいいが、そのためには市の損失補償による借

えよう、細かく精査をしていく。

Q 開業わずか8年目にして施設全体の老朽化が深刻である。危機的な経営状況のなか、施設改修はどのように進めるつもりか。

A (産業観光部長) 屋根については緊急度が高く22年度中に改修が必要。腐食に強いステンレス鋼板を使うと約1億1000万円かかるが、屋根を撤去せず木材や合成樹脂などで覆う方法だと6700万円程度でできるので検討中。できるだけ安価な形で対応する。

Q 堆肥センターの利用率農家は現在5軒。そのうち1軒が搬入量の7割近くを占める状況で、これが市全体の畜産振興につながるか疑問である。開業以来どれほどの公費が投入されたのか

A (市長) 現段階では金制度廃止の意見を国へ上げる意思はない。

Q 堆肥センターの利用率農家は現在5軒。そのうち1軒が搬入量の7割近くを占める状況で、これが市全体の畜産振興につながるか疑問である。開業以来どれほどの公費が投入されたのか



三郷堆肥センター付属の水分調整施設

明らかにせよ。

A (産業観光部長) 現在に至るまでに市が負担した金額は、修繕費等9072万円、指定管理料等補助金1億6576万円、借地料1800万円、合計2億7448万円である。

議員年金廃止に向けて

Q 当市議会では、議員年金制度廃止で意見がまとまった。この際、公費負担している自治体の長の立場から、議員年金廃止の意見を国へ上げる考えはないか。

A (市長) 現段階では金制度廃止の意見を国へ上げる意思はない。

新市長としての政策上の理念は



吉田満男

Q 新市長として、政策を遂行する上で理念を現場主義としているが、具体的にはどのような考えなのか。

A (市長) 現場の声を聞いて、生活の中こそ政治があるという原点のもとに市政を遂行していく。

Q 「共に響き合える安曇野市づくり」を基本方針として「田園産業都市」建設に向けて行くという来年度予算編成方針については。

A (市長) 重点目標として、健全財政の確立と効率化に向けた取り組み、さらに子育て、教育関係の振興と生活安全確保への取り組み、また、産業、観光振興と雇用の確保を進める取り組み、共生の地域、人づくりを進める取り組み、この四項目を重点として予算編成に取り組む。

Q 建設場所については、豊科の3カ所については困難という表現を使っているが、私はこの部分については議員で構成している庁舎等建設特別委員会の席においても反対をしてきている。平成19年11月には都市計画法が改正になり、いわゆるコンパクトシティの考え、また、郊外に大規模店舗ができ、まちの空洞化が叫ばれていること、そして食料の



県安曇野庁舎全景

Q 市長が言っている、必要最小限の規模とは、具体的にどんな内容なのか。

A (市長) 既存の施設で使える物は有効に活用して、十分な検討を加えながら、構想の中で

答申された範囲を超えるものは、できる限り規模はコンパクトなものにしていきたい。

Q 建設場所については、豊科の3カ所については困難という表現を使っているが、私はこの部分については議員で構成している庁舎等建設特別委員会の席においても反対をしてきている。平成19年11月には都市計画法が改正になり、いわゆるコンパクトシティの考え、また、郊外に大規模店舗ができ、まちの空洞化が叫ばれていること、そして食料の

自給率の向上を目指した中で今回の農地法等の改正が6月で発令となり、施行が12月15日付であった。約2年間近くかけてこの問題を討議してきた検討委員会なり他の委員会については、一体何であったのかということに反省しなければならぬ。

A (市長) 答申された3候補地はこのまま建設できるような状況にはない。早急に庁内のプロジェクト会議を開催をし、検討を重ね引き続き県とも連携をとって、指導を仰ぎながら5月末ぐら

らを目途に候補地の決定を行っていく。

福祉バスの永年継続と5地域に安曇野市の福祉バスを

公平体制を取り、希望に添えるようにしたい

福祉バスは安曇野市の福祉政策から重要だ。

(市長) 利用者1万2000人、公平体制をとり、交通手段のない高齢者に予算が許せば前向きに、希望に添えるようにしたい。

(健康福祉部長) 3地域47万円、来年度予算計上。

高規格道路について

松本系魚川高規格道路の計画は、豊科インター北ルート付近にする方向の環境が整ったが、見解は。

(市長) 促進同盟会の基本で行きたい。(同盟会は豊科インター北ルート案)

救急車、消防車が通行できる道路の整備を

消防車の入れない道路と団地形成での

道路対策は。

(都市建設部長) 危機管理室との連携で対応調査し(現在確認は29路線)順次整備していく。

新型インフルについて

感染状況等の見通しは。

(健康福祉部長) 今下がっているが、小学生は1月7日からワクチン接種となる。ワクチンは県が分けて供給し、任意接種希望者ワクチンは県で確保されていく。

県産材の活用を

ウッドニューディール政策で市の建物に県産材活用はどうか。

(産業観光部長) 県の利用指針では保育園・児童館・机・椅子の利用を進めている。(市長) 基本的に県産材使用に異論はない。



松澤好哲

いが、コスト高になる。

堀金小の西側道路改良工事の状況は。

(都市建設部長) 入札が終わり、21年度事業で工事完成予定であり、後の工事も県との連携を進めていく。



堀金小学校グランド西側道

三郷小学校のマンモス化解消は。

(市長) 検討は聞いていない。今の造りでは不便であり、教育6団体要望もある。生徒に不都合あるか、不登校いじめ、運動会など調べる必要がある。

(教育長) 大規模校の問題は承知している。通学区の変更はしないで大規模改修と体育館の耐震を計画している。

保育料は納得のいく引き下げを欲しい

財政とも調整を行いたい

保育料の引き下げや子どもの医療費の無料化については、多くのお母さん方から寄せられていた切実な願いである。

保育料の引き下げは来年度から低所得者を中心に軽減するとの答弁があったが、具体的な内容は。

(市長) 保育料は19市の中で最も高いといわれているが、保育士の数、保育内容等は他市町村に劣らない。経済状況が悪化している中で低所得者層を中心とした軽減が必要だ。財政状況、松本市等を中心とした近隣の状況を勘案し、期待に応えられるような内容にしたい。

県下では安曇野市が一番軽減率が低い。平均は24%となっている。松本は26%、3割を超えて軽減している市もある。平均の24%を超えるような軽減でなければ、お母さん方の納得の

いくような引き下げにはならないと思うが。

(健康福祉部長) 新しい制度をつくるのか、制度を見直すとかいう場合、財政的な面、そのサービスが実際の社会に与える影響、効果を十分に考えなければならぬ。仮に一割程度軽減する場合7000万円ほどの財源が必要である。財源との調整を経なければならぬ。

私たち女性がずっと望んでいたことだ。しかし、受診の際に医療機関、薬局ごとに受益者負担がかかる。この負担金が10月より300円が500円に引き上げられた。安曇野市は今年度いっぱい据え置くということだが、平成22年4月以降も現在の措置を継続できないか。

(健康福祉部長) 300円が500円になって県の財政が浮いた部分、それが小学3年生まで引き上げの入院医療にかかわってくるので、同じ制度の中で使われればこれも前進かなと感じている。

他に「特養の待機者が安曇野市でも400名弱いる中で、特養施設の果たす役割は大きい。特別養護老人ホーム穂高白百合荘では、介護職員が不足した状態が続いているにもかかわらず、改善がなされていない。施設の改善は」といった問題について質問した。



西穂高保育園

子育て・学校支援は

親の負担軽減し、子育て支援をしていく

子どもを社会全体で育てるために、経済的に苦しい家庭も、育ちと学びは保障されるべきである。市の不登校の実態と現状はどうか。

(教育長) 平成18・19・20年と徐々に増加し、本年度上期は前年比、小学校4人減、中学校21人減、合わせて25人の減少となっている。

過去3年の増加の原因は何か、その対策は。また、「中1ギャップ」の傾向はあるか。

(教育長) 不登校に本人にかかわる問題②友人関係親子関係③学業不振④いじめ。となり、対策として保育園・小学校・中学校間の連絡を密にすること、基礎学力をつけること。小学校低学年に学習習慣形成のために支援員の配置が功を奏している。昼間も家庭のお母さんと連絡のとれるフリーの支援員配置も検討している。

子どもを社会全体で育てるために、経済的に苦しい家庭も、育ちと学びは保障されるべきである。市の不登校の実態と現状はどうか。

区域外通学の現状と内容はどうか。

(教育長) 昨年度小・中合わせて46件。①友達がいる9件②転居6件③児童福祉施設へ入所5件④いじめ・不登校4件等の内訳となっている。

子育て家庭への負担軽減として保育料を松本市並にできないか。

(市長) 親の負担を軽減し、子育て支援をしていく方針である。子どもの医療費無料化について、県では小学校3年まで拡大している。義務教育まで医



黒岩宏成

療費無料化の試算は。

(健康福祉部長) 小学校6年まで約900万円。義務教育終了までの数字は検討中である。

農業振興について

①「農業振興計画」を策定し、目標を定め、方策を検証して行く必要がある②新たな農地制度についてどのようにならなければならないか③りんごの新ワイ化栽培の対応と苗の対策は④主要な施策の継続は。

(市長) 消費者ニーズにあった農産物の生産性向上を図り、農地所得を高めること。農地法改正により農業委員会の役割が重要になる。



堀金小学校田植え

豊科文化財団の村田コレクションはいつ公開するか

平成22年度中に実施したい

豊科文化財団所有の村田コレクションは、財産目録に1億6500万円余と記載されているが、これらは当然市民の財産である。西欧近世の人々が、親から子へ、子から孫へと伝えてきた歴史の刻まれた生活工芸品である。貧しかった時代に人々がいかにかこれらを守り続けてきたか、その生活史を示すことは、とても教育的な意味を持つ。同時にまた、観光の上でも意義がある。教育委員会として一刻も早い公開をすべきであると思うかどうか。

(教育次長) 村田コレクションは699点ある。過去に一部を展示したことがあるが全体像を展示してはいない。すべてを一挙に展示することは難しいが、この課題について整理していきたい。

具体的にいづ、展示公開するの。

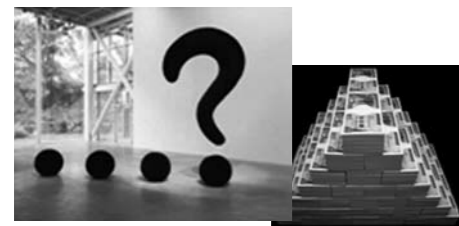
(教育次長) 物のあふれた現代にこそ、新たな歴史認識のために展示が必要という議員の意見に賛同する。市内には5つの郷土資料館がある。そこには安曇野の文化や歴史を語る資料が多く取められている。村田コレクションを展示することによって日本と西洋の生活文化を知ることができる。平成元年以降、コレクションの展示は行われなかったが、教育委員会は現在、文化振興計画を策定している。計画は平成22年度中に完了する。その検討段階で部分的でも村田コレクションをより完全な形で展示をしたい。

【要望】具体的な時期を示されて有り難い。我々は未来から学ぶことはできない。過去から学ぶしかないが、形として残っているものは僅かである。この僅かなものから想像力を働かせて、先人がいかに生き抜いてきたかを知ることが未来につながる。また市長が所信表明において、安曇野の観光がスポット的なものから目的意識を持った観光へシフトしていることを指摘されたが、村田コレクションや他の資料館、そして温泉郷なども含めて、文化と健康の一巡コースなどを考えて行けば観光戦略的な意味を持つと思う。公開展示にあたっては広報あづみの特別版などを作成し、市民に1層の周知を図らねばならない。



山地重雄

かに生き抜いてきたかを知ることが未来につながる。また市長が所信表明において、安曇野の観光がスポット的なものから目的意識を持った観光へシフトしていることを指摘されたが、村田コレクションや他の資料館、そして温泉郷なども含めて、文化と健康の一巡コースなどを考えて行けば観光戦略的な意味を持つと思う。公開展示にあたっては広報あづみの特別版などを作成し、市民に1層の周知を図らねばならない。



20年以上公開されなかった村田コレクション。その全貌は？

三郷地域畜産臭気対策について

測定の中で一定の成果が生まれている

Q 市長は所信表明の中で田園都市構想を掲げているが、三郷臭気問題には触れなかった。市民から直接苦情等、届いていると聞いているが解決に向けてどのように考えているのか。

A (市長) 特に夕刻の匂いには閉口している。悪臭に対する対策は何かしなければならぬと思う。畜産農家の課題でもあり、また、畜産振興という面からは、どんな支援ができるのかと考えている。



黒沢川の桜並木と畜舎

Q 臭気対策研究会議の結果の中で糞尿を畑にまく際、スラリーインジェクターが有効らしいが、今後、市で畜産農家に対し、機械等購入補助を考へはないのか。

A (産業観光部長) 臭気対策研究会議の立ちあげ後、測定の中で一定の成果が生まれてきている。スラリーインジェクターも一策であり、財



小松芳樹

政事情にもよるが、農業の補助支援という中で具体化していきたい。

保育教育について

Q 昨年来の不況の影響で失業してしまつた場合、私的契約保育に変更しなければならぬ。就職先が決まるまで1カ月の猶予があるが、期間を延長する考へはないか。

A (健康福祉部長) 十分に離職した場合、再就職までは相当の時間がかかるのが現状だと考へる。今後検討していく。平成20年度に厚生労働省が保育指針の

「あづみん」の利便性アップを

Q 利用者アンケートでは、8割以上の満足度があるが、時間どおり来てくれないとか、もつと横のつながりを持って運行してほしいという声が聞かえるが、改善の余地はないのか。

A (企画財政部長) この事業は3年間の試験実証運行中なので、いろいろな機会を通じて意見を聞きながら確かな公共交通としていきたい。

近隣市町村に比べて割高な保育料について

公約に基づいて保育料の見直しを検討したい

Q 安曇野市の保育料は、近隣市町村に比べて割高であるという保護者の声があるが、保護者の負担軽減策の一つとして、市長が所信表明の中で言及した保育料の見直しについて聞きたい。

A (市長) 県下19市のうち最も高いということは事実である。保護者の負担軽減策は喫緊の課題であると認識している。保育料の見直しについては公約に基づいてぜひ検討したい。なお、現在の保育料は合併前町村の平均値をもって新市の保育料とするとして、合併協議における合意に基づいて決定されたものである。

Q なぜ、合併時に県内や近隣市町村の保育料を参考に決めて決めたのか。



保育園で遊ぶ園児たち

Q 厳しい財政事情は承知しているが、将来の子どもたちのために先行投資することは、非常に重要なことだ。子どもを産み育てる環境づくりに積極的に取り組むような予算編成をお願いする。その決意を表明してほしい。

A (市長) 新年度に向けて予算組みをする。いる。保育料と提供できる保育サービスとの両方のバランスを考へ、大きく開きのあつた合併前町村の保育料の平均を取ることに決定されたものである。

安曇野菜園の経営状況

Q 赤字経営の続く安曇野菜園であるが、昨年は病害虫や葉カビ病の多発により、思うような栽培ができなかった。作物の収穫は自然との闘いであり、病害虫や病気の発生は予期すべきことと思う。県の病害虫防除所や農業改良普及センターの発生予察、栽培に関する情報を的確に把握して栽培が行われていたのか疑問だ。今後の経営再建について聞きたい。

A (市長) 事業の中止には、補助金の返還等により15億円程度の財政負担が見込まれることや、菜園における雇用問題等を考慮して、経営再建に取り組む決意だ。安曇野の気象条件とネームバリューを生かして、カゴメと一層連携を深め、副市長を先頭に経営再建に邁進していきたい。



高橋 浄

一般廃棄物最終処分場建設問題について

日常生活に欠かすことができない施設

Q 「因縁の地」豊科田沢が最終処分場候補地として答申された。10月の市長選挙に掲げた見直しの真意を伺う。

A (市長) 選挙期間中、一般廃棄物処理場建設については、日常欠かすことができない施設。建設に向けては再度検討見直しする場面がでてくるかもしれないと訴えた。田沢地区の心情は痛いほど理解をしている。年数の短縮と小規模なもので実証検証できないものか、地域住民の理解を得られればの思いだった。

この答弁では田沢は納得できない。場所の見直しと認識している。「当該構想は慎重に審議された結果であり、尊重すべきもの」と考へる。これは、つくるといふことか。

A (市長) 最終処分場検討委員会報告は、

Q 慎重審議された。諮問をし答申を受けた以上は尊重すべきと考へる。市民の皆さんにご理解をいただき前進したい。

A (市長) 自分たちで出したごみは、自分たちで責任を負わねばならないことと、最終処分場の必要性は充分理解する。しかし賛成・反対で区内が二分するような不幸な事態が起きることは、絶対に許されぬこと。三郷温の一般廃棄物最終処分場について、地域のご理解をいただくなかで、安曇野市全域の一般廃棄物埋め立ての早期実現有効活用を。



答申された豊科田沢の採土場



内川集雄

他に、市依存から脱却した「区のありかた」区長の位置づけ」について質問をした。

超高齢者社会を迎えるための福祉ビジョンは

介護老人福祉施設の整備を支援していく

Q 2025年には、日本の人口の3分の1が65歳以上の高齢者になる超高齢者社会を迎えるといわれている。安曇野市としても、現在4人に1人が65歳以上であり、介護老人福祉施設に足りない待機者が、重複してはいるが370名、要介護の方は3906名であるが、市としてこの状態を今後、どのように考へるか、ビジョンをお伺いしたい。また、一人暮らしの高齢者が急増しているため、高齢者への支援として、また、外出手段として、75歳以上の方全員に、タクシー券の配布を要望したい。

A (市長) 介護が必要な方や、ご家族が抱える介護の不安を解消するように、年次計画として、第4次介護保険事業計画において、民間が進める介護老人福祉施設に整備を支援していくことになっていく。市から現



豊岳荘

A (健康福祉部長) 一入暮らしの家庭の状況によっては、対応のできる職員を送り出すことも今後検討し、取り組めることはやっていく。タクシー券については、デマンド交通ということで、解消されているが、検討していく。

Q 放課後の居場所づくりが大切である。親が安心して働くことができるよう、児童クラブの受け入れ拡大を要望したい。進捗状況を含めてお伺いする。

A (市長) 大切な視点に拡大できるかどうかを含めて、施設の受け入れ態勢等踏まえて、学校現場、教育委員会の見解を踏まえ、空き教室の利用等は考へていかなければいけない課題だと思ふ。



藤原陽子

親が安心して働ける環境づくりを

Q 小に空き教室があるが、全ての地域で利用するわけにはいかない。来年4月からスタートしたいということで、健康福祉部、教育委員会、穂高北小で継続して協議を行っていく。

公共交通を欧州に学び、まちづくりの中心に

生活交通の充実で、よりよいまちづくりに貢献する



下里喜代一

Q モーターゼーション隆盛の時代は終わった。公共交通機関をまちづくりの中心に据え、欧州型で環境にやさしく賑わいあるまちをどう創るかが問われているが。

A (市長) 地域公共交通(通総合連携計画)で、生活交通の確保・充実に、地域の活性化、よりよいまちづくりに貢献するとしている。

Q 「あづみん」とセツトで市内循環路線バス「ぐるっとめぐるトナマス号」を走らせ、自然エネルギー採用、市民参加、市既存の車輛を使用することを提案する。

A (企画財政部長) 巡回バスで成功しているムーバス(武蔵野市)は路線が5kmと短く運行間隔15分とメリットがあるが、当市ではできず、運行は難しい。

子ども期の遊びを大人の責任で甦らせる

Q 新自由主義社会では子ども期が剥奪されている。「雑巾」(名古屋市)という遊びがある



他に「地デジ難民」を出さず、市民負担をかけないようにと質問した。

Q 派遣切りで失業。公営住宅に入れない。といった声があるが失業者を救う手立てはどのようになっているのか。

A (企画財政部長) 12月29・30日に生活支援年末緊急相談を豊科総合支所で開設。離職者の住居安定確保は常時相談に応じている。

失業者を救う手立ては

安曇野市本庁舎建設地(用地)の早期決定を

平成22年5月までには決定したい



山田高久

Q 本庁舎建設は市民の合意と理解を得るには、一日でも早く建設地の決定を望む。一年遅ければ1億円(5億円の試算もある)の行政経費のロスが発生する。

A ①審議会答申の3カ所の可能性(許可難易度承知の上での発表か) ②3カ所不調時の新候補地(市街化区域連たん地域・豊科総合支所・旧東洋紡跡地)等の検討は。③市長は、5月の決定と言っているが合併特例債活用などに間に合うのか。

A (総務部長) 候補地の選定は年内にも市内プロジェクトチームを設置し、答申内容を尊重しながら指摘場所を含め再度見直しをしていく。合併特例債期限内が必須条件である。

農業振興条例の制定

Q 新市将来構想の基本方針では、自然と

Q 地縁的団体組織の自治区や常会・隣組を育成し、地域防災力・防犯力・教育力・福祉力を高める必要があると思ふが。自治区への加入率は。加入促進策として、条例策定・区交付金の増



約8haの未開発市街化区域(本庁舎市街化区域候補地)

他に学校給食の完全米飯化について質問した。

観光のまちづくりをどう進めるか

温泉の利用で滞在型の観光に



荻原勝昭

Q 観光を中心に据えたまちづくりというところで、健康意識や心の満足にこたえる事業メニューの策定とあるが内容は何か。温泉の利用についてはどうか。文化行政が重要である。その中で豊科近代美術館を拠点に全国発信できたり、企画展がやれる規模に充実させる構想はあるか。

A (市長) 観光の一つの目的には、心のいやしが大きな比重を占めている。安曇野全体が地域ブランドであり、これらを生かして医療、福祉、健康づくり等を持つ温泉郷の利用で、ぜひ滞在型の観光に結びつけていきたい。

A (産業観光部長) 「安曇野で漂う36時間」で滞在型観光を目指している。また、しゃくなげ荘をどう活用するか本年

度研究に手をつけたい。

Q 公共交通の果たす役割は非常に重要で、そのなかでJR駅周辺に駐車場を確保し駐輪場に屋根をつけることはどうか。

Q 望めるのは利用者数の状況を判断しながら順次対応していく。通学路の歩道整備については交通量があり、歩道の必要性を勘案しながら補助事業等も有効に活用して順次進めていく。

A (都市建設部長) 要



穂高駅西駐輪場

Q 住みやすい地域づくりの一つとして交通と道路問題がある。すべての市民の住宅の木戸先まで舗装が行き渡るように、通学路には歩道設置をきちんとやり危険状態を解決すべきではないか。

A (都市建設部長) 事業費がほとんど地元負担で多額のため、当初計画を凍結した。今後はその方向性を固める中で進めていきたい。

Q 穂高駅西の区画整理に伴って西口と東西通路を作るべきではないか。

A (都市建設部長) 地の確保は難しい。駐輪場についてはスペースの確保を優先して屋根の設置を含めて駅周辺の整備計画の中で検討していく。

安曇野市議会のホームページ(HP)は安曇野市ホームページから

http://www.city.azumino.nagano.jp

安曇野市のホームページ(HP)を開いていただいて



をクリックしていただくと開きます。

安曇野市議会にすること情報を得ることができます。また、インターネット(安曇野市議会のページ)からご意見・ご提言もお寄せいただけます。

皆さんの声をお待ちしています。

福祉教育委員会審査報告

議案第 126 号	安曇野市重度心身障害者福祉金に関する条例の一部を改正する条例
議案第 127 号	安曇野市社会就労センター条例の一部を改正する条例
議案第 128 号	安曇野市学校施設使用条例の一部を改正する条例
審査結果	特に、異議はなく全員賛成で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

議案第 130 号	平成 21 年度 安曇野市一般会計補正予算（第4号）（福祉教育委員会所管事項）
審査内容	（要望） 保育園を移転改築するにあたり、土地を提供される所有者は、将来の子どもたちを育てていくための施設ということで、先祖から受け継いできた農地を永久に手放し協力していただいている。 これからは、土地の所有者との対応は、取得価格の決定方法も含めて、先ず市の幹部が出向く等、丁寧な説明に配慮をして欲しい。
審査結果	上記のような要望を踏まえ、採決を行った結果、全員賛成で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

議案第 134 号	平成21年度 安曇野市介護保険特別会計補正予算(第3号)
審査結果	特に、異議はなく全員賛成で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

請願第 5 号	安曇野市で購入する本について
審査内容	（審査を継続したいとする意見） 図書館の図書の納入時、図書館システム登録作業等、市外業者と同じ状態で納品できるのであれば、市内業者をお願いするのが筋であると思うが、現状では確認できない。 心情的には採択としたいが、納入条件を請願者に確認した上で審査したいので、継続審査としたい。
審査結果	上記のような審査を継続したいという意見について、諮ったところ、全員賛成で、「継続審査とすべきもの」と、決定した。

建設水道委員会審査報告

議案第 130 号	平成21年度 安曇野市一般会計補正予算(第4号)(建設水道委員会所管事項)
議案第 135 号	平成21年度 安曇野市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第 136 号	平成21年度 安曇野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
議案第 138 号	平成21年度 安曇野市水道事業会計補正予算(第2号)
審査結果	特に、異議はなく全員賛成で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

議案第 139 号	市道の廃止について
議案第 140 号	市道の認定について
審査結果	以上の議案については、特に、異議はなく全員賛成で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

人事案件
・公平委員会委員の選任について左記の3氏について同意した。
大久保 陸男
松岡 光正
清澤 喜美蔵
唐澤 武志氏の人権擁護委員の推薦について、適任とした。

12月定例会
第四回臨時会
11月26日開催
詳しくは議案の審議結果(P7)をご覧ください。
人事案件
・千國寛一氏の監査委員の選任について、同意した。

総務委員会審査報告

議案第 125 号	安曇野市特別職の職員等の旅費又は費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
審査結果	特に、異議はなく全員賛成で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

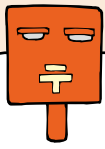
議案第 130 号	平成 21 年度 安曇野市一般会計補正予算（第4号）（総務委員会所管事項）
審査内容	（要望） ・選挙管理委員会について 衆議院議員、市長、市議会議員と、3つの選挙があった。ポスター掲示板設置場所、事前説明会など選挙の対応に問題が幾つかあった。 来年も大きな選挙があるので、今後、選挙事務の精通に努めて改善を図り、万全を期して欲しい。 ・デジタル移動系防災行政無線整備工事について この工事において、三郷小倉地区の室山に鉄塔を建設するにあたり、室山地区で説明会を行い、要望などを受け、一定の理解を得て、今後、三郷地域全体の説明会を予定しているとのことである。 将来、景観条例が制定された時に問題が起こらないように、こういった説明会はできるだけ全市に知らせて、市民の意見を聞く機会を設け、市民の合意を得て欲しい。
審査結果	上記のような要望を踏まえ、採決を行った結果、全員賛成で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

環境経済委員会審査報告

議案第 129 号	安曇野市公衆便所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第 130 号	平成21年度 安曇野市一般会計補正予算(第4号)(環境経済委員会所管事項)
議案第 131 号	平成21年度 安曇野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案第 132 号	平成21年度 安曇野市老人保健特別会計補正予算(第2号)
議案第 133 号	平成21年度 安曇野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案第 137 号	平成21年度 安曇野市有明山林財産区特別会計補正予算(第2号)
審査結果	特に、異議はなく全員賛成で、「原案のとおり、可決すべきもの」と、決定した。

請願第 6 号	食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める請願
審査内容	（意見） トレーサビリティ、いわゆる産地、生産方法とその履歴の確認ということは、現状では大変難しい。特に、加工食品については、その履歴は把握できるものではない。こういったことを実施するには、かなりの時間と労力が必要である。 しかし、こういった現状と、今後どのような方法で実施するかという課題もあるが、今必要なことなので、採択としたい。
審査結果	上記のような意見を踏まえ、採決を行った結果、全員が願意妥当と認め、「採択すべきもの」と、決定した。

陳情第 7 号	EPA・FTA 推進路線の見直しを求め、日米 FTA の推進に反対する陳情
審査内容	（審査を継続したいとする意見） 関税の撤廃については反対である。しかし、食糧自給率を向上させることには賛成である。また、民主党のマニフェストがはっきりしないので、継続して調査したい。
審査結果	上記のような審査を継続したいという意見について、諮ったところ、賛成多数で、「継続審査とすべきもの」と、決定した。



市民の声

「議会に望むこと」

百瀬 陽子 (豊科地域)



昨年10月の選挙による新体制の議会がスタートして、3か月余りが過ぎようとしています。2期目の方、1期目の方、其々にはりきっておられるお姿に、これからの議会運営に大きな期待が膨らんでいます。

しかるに、合併後、議会が市民から遠い存在になってしまっているように感じます。市政を問い質し、よりすばらしい安曇野市を構築していくことも議会の重要な役割とは思いますが、そこに市民の意向が反映されていないのであるなら、無意味なものではないでしょうか。安曇野ブランド推進会議等の市民活動に、議員の方々が、同じ市民として参加されているところはほとんどお見受けしません。

市が主催する行事には来賓として出席されておられると思います。しかし、実際の市民の活動に、議員の方々がどれほど目を向けておられるのか、市民からは見えにくくなっているように思います。

ぜひ、もっと市民の中に入ってきていただきたいと思います。市民と共に汗を流していただきたいと思います。

2期目となり、市庁舎の建設、土地利用の件、最終処分場の件等、重要な課題が山積する中、議員の方々には市民の目線に立ち、市民の声を反映して、これらの問題を解決されていくことを切に望みます。そのためにも、ぜひもっと市民に近づいていただきたいと思います。

初当選議員勉強会

平成21年11月11日、初当選議員12人全員出席のもと、勉強会が行なわれた。

安曇野市の組織、予算については総務部長から説明があり、「市民の目から見てわかり易く公平なものでなければならない。要項を決めて効率的な仕事を心がけている。これは地方自治法に則ってやっているものだ。」という話がされた。

続いて本会議や常任委員会の運営等について、議会事務局から説明がなされ、「議会の招集権者は市長である。『表決』とは個々の議員が賛否の意思を表示すること。『採決』とは議長が議員に賛否を諮ること。委員会で同一内容の反対意見に同調する委員が2人以上いる場合『少数意見』として留保する。」などの基本的なことや、「一般質問に関しては、自分が調査した上での質の高い質問をしてほしい。」などが話された。

平成22年安曇野市議会 3月定例会会期日程 (予定)

3月1日(月)～3月25日(木)頃を予定。
皆様の傍聴をお待ちしています。

編集後記

第17号は2月3日発行、節分と重なりました。早いもので昨年10月の市議選から4か月近くがたち、12月定例会を経て新しい議会は本格稼働です。

議会だよりの編集を担う議会広報特別委員会も、10名のうち9名が新人というフレッシュな陣容でスタート。その心意気は表紙の変化に感じ取っていただくと、本格的な誌面刷新は今後の課題として取り組んで参ります。

それにつけても、議会だよりを通じて情報公開に努めることはもちろん、市民のニーズに応える誌面作りの工夫がもっと必要となります。幅広い年代層の関心をカバーするためにも、ネッ

トなどの多種多様な情報発信の方法も模索していきたいと思えます。
(小林純子)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 小林 純子 |
| 副委員長 | 内川 集雄 |
| 委員 | 相田登美枝 |
| | 猪狩久美子 |
| | 荻原 勝昭 |
| | 小松 芳樹 |
| | 高橋 浄 |
| | 畠山 倉光 |
| | 藤原 陽子 |
| | 山地 重雄 |

*気軽にご意見をお聞かせください。



たわむれる白鳥たち (犀川白鳥湖)